

武儀地域振興計画

「ぜひおいで 良い仲間たち いなか町」

令和6年3月

特定非営利活動法人（NPO 法人）

日本平成村

目次

1	武儀地域振興計画の位置づけ	1
2	人口推計（武儀の20年後の姿）	2
3	NPO 法人日本平成村が取り組んできたこと	3
4	NPO 法人日本平成村 組織図と活動分野	4
5	NPO 法人日本平成村が取り組んできたこと①	5
6	NPO 法人日本平成村が取り組んできたこと②	6
7	NPO 法人日本平成村が取り組んできたこと③	7
8	武儀地域づくりアンケートの実施（課題の抽出のために）	8
9	「武儀がやがや会議」の実施	10
10	「武儀がやがやフリースペース」の設置	11
11	「ミライの武儀を語る会」（団体ヒアリング）の実施	12
12	津保川中学校ワークショップ	16
13	武儀の課題（まとめ）	18
14	これからの10年に向けて	20
15	地域づくり施策・具体的な課題の解決策（各委員会の事業）	21
16	武儀地域振興計画の進捗管理、評価等について	35
17	巻末資料	36

武儀地域振興計画

1 武儀地域振興計画の位置づけ

1. 武儀地域振興計画とは

一人ひとりが生きがいを持ち、最期まで安心して、武儀で暮らすことが、私たち住民の願いです。

今後少子高齢化は、さらに進展すると考えられ、武儀の来るべき将来のために、堅固な共助の母体を創り、住民相互が助け合い、様々な公益的な活動を行うことが必要です。住民や多様な団体が力を合わせ連携することで、住み心地が良い、いきいきした武儀をきっと創れるはずです。

そこで、より住みよい武儀にするために、地域住民が主体となって行う地域づくりの活動計画「武儀地域振興計画」を定めます。

2. 計画実施期間

武儀地域振興計画は、平成26年4月1日から令和6年3月31日までの10年間のまちづくり計画として作成されました。この度、振興計画の策定から10年が経過したため、令和6年4月1日から令和16年3月31日までの新たな10年間の計画を定めました。

なお、計画期間内であっても、社会情勢や地域の状況の変化、所期の目的を達成したとき等の理由により、必要に応じて見直しを行います。

3. 計画の内容

武儀地域振興計画には、住民アンケート、がやがや会議、学習センターへ設置した意見板、団体ヒアリングなどから洗い出した地域課題を明記します。

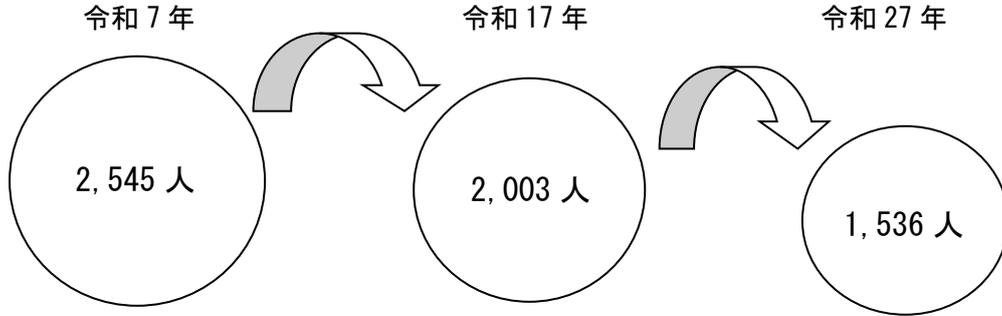
また、それらの課題を解決するために、私たち住民がどのような活動を行ったらよいかなど、今後、住民が主体となる地域づくり活動を具体的に掲載します。

4. 行政との連携

関市は、武儀地域振興計画に従って推進される地域づくりの活動を、地域支援職員の派遣や地域づくり交付金等により支援し、協働します。

2 人口推計（武儀の20年後の姿）

武儀の20年後の姿を具体的な数値を用いて把握するために、将来人口・世帯予測ツールV2（H27 国調対応版）を用いて予測を行いました。



<5年ごとの人口推移予測>

区分	令和7年		令和12年		令和17年		令和22年		令和27年	
	人数	構成比								
総人口	2,545	100%	2,255	100%	2,003	100%	1,766	100%	1,523	100%
年少人口	136	5.3%	99	4.4%	66	3.3%	48	2.7%	33	2.2%
生産年齢人口	989	38.9%	771	34.2%	591	29.5%	453	25.8%	336	22.1%
高齢者人口	1,420	55.8%	1,385	61.4%	1,346	67.2%	1,255	71.5%	1,154	75.8%

	R7	R27	(R7に対する増減率)
人口（総数）	2,545人	1,523人	(△40.1%)
年少人口	136人	33人	(△75.7%)
生産年齢人口	989人	336人	(△66.0%)
高齢者人口	1,420人	1,154人	(△18.7%)
年少人口比率	5.3%	2%	
生産年齢人口比率	38.9%	22%	
高齢者人口比率	55.8%	75%	

今後20年間で、約1,000人が減少する！

今後20年間で、地域内の3/4が65歳以上に！

今後、武儀は、人口が年々減少し、極端な少子高齢化の地域になると予想されます。このままでは、集落の消滅、武儀地域全体の荒廃につながる問題になると危惧されます。しかし、たとえ少子高齢化が進展しても、堅固な共助の組織により、誰もが武儀に安心して住み続けられるようにみんなで支え合うことが必要です。みんなで「最後まで安心して暮らせる」武儀をつくらなくてはなりません。

3 NPO 法人日本平成村が取り組んできたこと

NPO 法人日本平成村とは

NPO 法人日本平成村は、合併後の新市ではできない、ましてや個人や行政ではできない武儀地域の身近な問題を解決するため、地域住民が知恵とお金を出し合ってお互いに助け合う、相互扶助の考え方に立って社会サービスを提供するために設立した法人です。

NPO 法人日本平成村は、平成 18 年 7 月 22 日に設立されました。2024 年現在でも、武儀地域の世帯の約 9 割の方々が会員となっています。

関市が推奨している地域委員会制度を NPO に取り入れ、NPO の事業を見直して地域振興計画を策定し、平成 26 年 4 月 1 日から「武儀地域振興計画」がスタートしました。

地域委員会とは

地域委員会は、それぞれの地域の特性をいかして住民主体の地域づくりを行う組織です。地域の課題を地域で検討・解決し、将来にわたって持続可能な社会にしていくため、住民の力を最大限に発揮するための組織です。

①設置区域

概ね小学校区に 1 つ設置されています。武儀地域の地域委員会は、NPO 法人日本平成村です。

②目的

地域委員会は、地域課題を明らかにし、その課題を解決することを目的とした「課題解決型の住民組織」です。概ね 10 年間の地域振興計画を作成し、その計画に従い活動を行います。

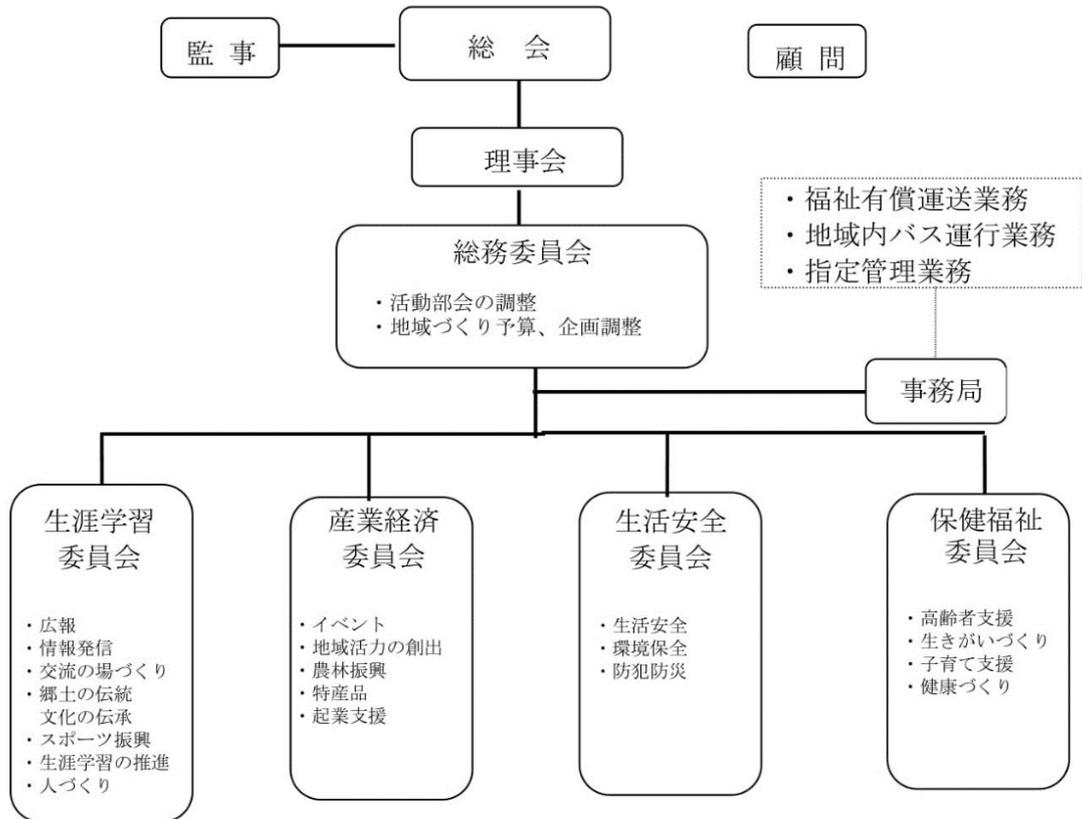
③組織

地域委員会には、地域内の主要団体が参加します。自治会、各種団体、各種委員、NPO、市民団体、活動の意思を有する個人など、地域内の様々な主体の力を結集することで、効果的に地域づくりを行います。

④市の支援

地域委員会の活動に対して、関市は、年間約 300 万円（令和 5 年度現在）の交付金を交付します。また、地域支援職員を派遣することにより活動を支援します。

4 NPO 法人日本平成村 組織図と活動分野



NPO 法人日本平成村の事業について

おもに、福祉有償運送業務、地域内バス運行業務、指定管理業務（関市武儀生涯学習センター、関市立図書館武儀分館、富之保グラウンド、中之保グラウンド、下之保グラウンド）等を行っています。

NPO 法人日本平成村では、武儀地域振興計画※（実行期間：平成 26 年 4 月 1 日から令和 6 年 3 月 31 日）をもとに、様々なまちづくり活動を行ってきました。

本書では、主な事業のみ掲載いたします。事業の詳細については、毎年発行している「NPO 法人日本平成村事業報告書（通常総会資料）※」をご覧ください。

※平成 26 年 4 月 1 日から実施した事業報告書は、NPO 法人日本平成村公式ホームページ（<https://nihonheiseimura.org/>）からご覧いただけます。

5 NPO 法人日本平成村が取り組んできたこと①

武儀地域振興計画（実行期間：平成26年4月1日から令和6年3月31日）を基に、各委員会において事業を実施してきました。※ここでは、主な事業のみを掲載しています。

【生涯学習委員会】情報と人が行き交う いなかまち



① 情報基地武儀の設置と活用

日本平成村通信の発行（毎月）、日本平成村公式ホームページ、SNS、ブログによる発信。



② ロマンウォーク大会、スポーツ振興 等

武儀のむかし話ロマンウォーキング大会、スポーツ振興補助金交付、成人式写真プレゼント、軽トラ朝市など

【産業経済委員会】地域の力を創り出す いなかまち



① 武儀のイベント開催、体験プログラム

道の駅平成にて秋祭り（ビンゴ大会、宝探し）を開催。羽釜炊きご飯で五平餅づくり体験 等。



② しあわせの気の森整備、産業祭の支援

毎年7月1週目の日曜日に「しあわせの気の森」の草刈りを実施。津保川産業祭へのシャトルバス運行、協賛 等。

6 NPO 法人日本平成村が取り組んできたこと②

武儀地域振興計画（実行期間：平成26年4月1日から令和6年3月31日）を基に、各委員会において事業を実施してきました。※ここでは、主な事業のみを掲載しています。

【生活安全委員会】安心がつながる いなかまち



① 見まわり隊パトロール、除雪の実施

武儀地域デマンドバス、福祉有償運送で地域の見まわり活動を実施。配食サービス事業で見守り活動を実施。要援護者の除雪 等。



② ササユリの保護育成、女性主体事業

ササユリ保護育成事業の支援、花の寄せ植え講座等の成人講座を開催。

【保健福祉委員会】すくすく、いきいき元気が続く いなかまち



① むぎファミリーサポート事業

日本平成村通信に赤ちゃん紹介コーナー「むぎっこ」を掲載。子育てサロンのサポート。むぎっこecoプロジェクト 等。



② 夏の勉強部屋、乳幼児学級応援事業

夏休み期間中に図書館の参考資料室を勉強部屋として開放。乳幼児学級（ペンギンクラブ）の傷害保険の助成、事業協力 等。

7 NPO 法人日本平成村が取り組んできたこと③

武儀地域振興計画（実行期間：平成26年4月1日から令和6年3月31日）を基に、各委員会において事業を実施してきました。※ここでは、主な事業のみを掲載しています。

【事務局】交通手段の確保と利用しやすい施設運営



① 福祉有償運送

要介護者、身体障がい者等に対して、十分な輸送サービスが利用できないと認められる場合に、営利とは認められない対価で車を運行。



② 地域内バス運行業務

武儀地域内バス（デマンドバス）を運行している。津保川バス運営協議会として武儀、上之保地域の予約受付事務を行っている。



③ 施設管理・運営

関市武儀生涯学習センター、関市立図書館武儀分館の指定管理業務。

富之保・中之保・下之保グラウンド、中之保テニスコートの予約受付事務。



武儀地区の学校開放施設および上之保地区の学校開放施設・グラウンド等の土日祝の受付事務。

8 武儀地域づくりアンケートの実施（課題の抽出のために）

武儀地域づくりアンケート

～いつまでも住み良い地域をつくるために
ご協力をお願いします！～

このアンケートは、明日の武儀の姿をみんなで考え、いつまでも安心して住み続けられる武儀にするために、皆さんが日頃考えていることやご意見を伺うものです。ぜひ、ご協力をお願いします。

- 対象者：このアンケートは、武儀地域の中学生以上の住民の方に対して行います。
- 回答方法：本アンケート用紙への記入またはオンライン回答（令和5年3月1日現在の状況をお答えください。）

右のQRコードより
オンラインで回答
いただけます。



URL：https://lbpforms/form/ZnuY/194008

- 回答期限：令和5年3月20日までに記入し、同封の「返送用封筒」に入れて郵便ポストへ投函して下さい。
※住所や氏名は、記入の必要がありません。

皆様からいただいたアンケートは、今後の地域づくりのために活用させていただきます。また、アンケート集計結果は後日公表いたします。

【実施主体】
NPO法人日本平成村・院 市
【お問い合わせ】
NPO法人日本平成村 ☎49-2855

武儀地域づくりアンケート

- ・アンケートの返番は、該当する番号に○印を付けてください。
- ・「その他（ ）」欄は、回答を記入してください。

あなた自身についてお聞きします

問1 あなたが自認する性別を教えてください。

1. 男
2. 女
3. その他

問2 あなたの年齢はどのくらいですか。

1. 10代
2. 20代
3. 30代
4. 40代
5. 50代
6. 60代
7. 70代
8. 80歳以上

問3 あなたの住まいはどの地域ですか。

1. 富之保
2. 中之保
3. 下之保

問4 あなたは武儀地域に居住して何年ですか。

1. 5年未満
2. 5年以上10年未満
3. 10年以上20年未満
4. 20年以上30年未満
5. 30年以上

-1-

1) 概要

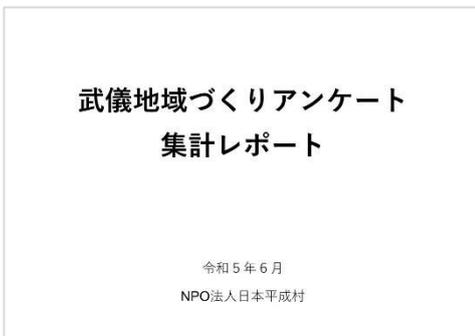
- ・調査期間：令和5年3月1日から3月20日まで
- ・調査対象：武儀地域に在住する中学生以上の住民
- ・有効回収数：880通（回収率33.9%）



アンケート結果はこちら

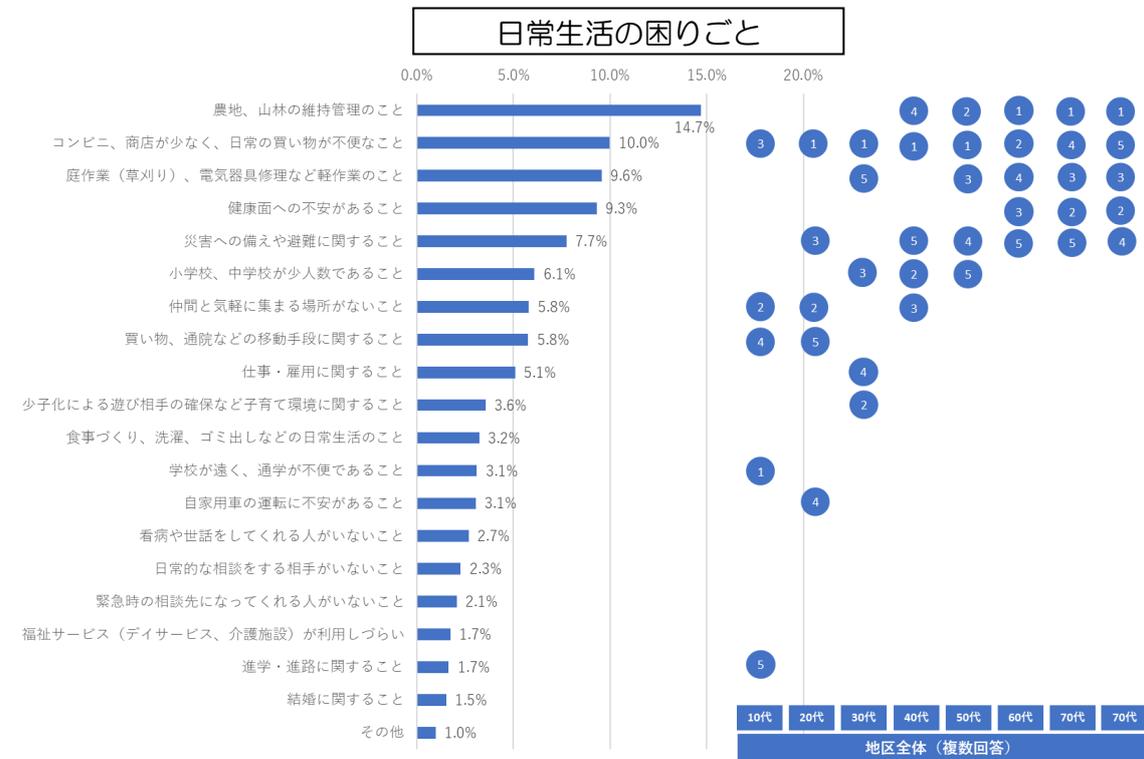
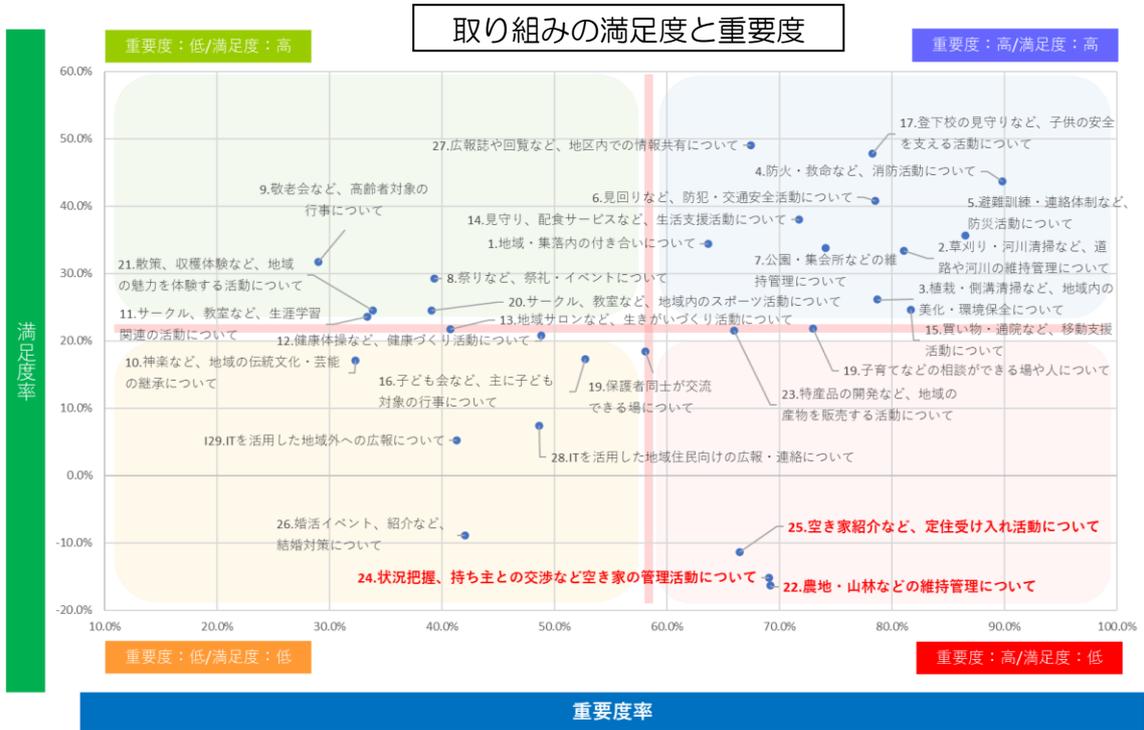
2) アンケート結果から見た武儀の課題

※アンケート結果については、武儀地区在住の方々へ日本平成村通信 2023年8月号と同封して自治会配布しました。なお、日本平成村公式ホームページへアンケート結果を掲載しています。



3) 特に優先度の高い課題3つ（集計レポートから抜粋）

- ① 農地・山林などの維持管理について
- ② 空き家紹介など、定住受け入れ活動について
- ③ 状況把握、持ち主との交渉など空き家の管理活動について



9 「武儀がやがや会議」の実施



1) 概要

- ・名称：むぎがやがや会議
- ・開催日時：令和5年9月1日（金）19時から20時30分
- ・場所：武儀生涯学習センター 多目的ホール
- ・対象：武儀在住・在勤・在学の方なら年齢問わずどなたでも
- ・参加人数：37人

2) 内容

当日は、①事前説明、②がやがや会議（課題出し）、③がやがや会議（アイデア出し）のシンプルな内容で進めました。20代から80代までの幅広い年齢の方が参加しました。

3) 結果

がやがや会議で出された武儀の「課題」は214件。

「アイデア」は60件出されました。

※がやがや会議の当日に出された課題やアイデアについては、
日本平成村公式ホームページに掲載しています。



詳細はこちら

10 「武儀がやがやフリースペース」の設置



1) 概要

武儀地域の「課題」や「アイデア」を自由に書ける「武儀がやがやフリースペース」を設置しました。

- ・設置期間：令和5年9月12日～令和6年1月16日
- ・設置場所：武儀生涯学習センターマルチメディア室前

2) 結果

武儀がやがやフリースペースに集まった意見は104件。

下記にその一部を掲載します。

※詳細は、日本平成村公式ホームページに掲載しています。



詳細はこちら

ジャンル	書かれていたこと
イベント	<ul style="list-style-type: none"> ・何かの大会(スポーツ)をやってほしい ・平成の地に某 Hey!Say!をジャンプするアイドルを呼んでイベントをする ・卓球大会やって下さい！！ ・イベントほしい ハロウィン クリスマスとか
環境	<ul style="list-style-type: none"> ・川で遊ぶ場所の整備。河川をキレイに駐車場も ・子どもの遊び場がほしい、集まれるところが欲しい ・大きい病院がない ・旧武儀西小学校を公園にしてほしい
観光	<ul style="list-style-type: none"> ・あまり名所と言えるところがない 小さいモールみたいなのがほしい
交通	<ul style="list-style-type: none"> ・休日のバスをもっと増やしてほしい
産業	<ul style="list-style-type: none"> ・ガソリンスタンドがなくなる
施設整備	<ul style="list-style-type: none"> ・学習センターで安価な習い事を開催する

1 1 「ミライの武儀を語る会」(団体ヒアリング) の実施



1) 概 要

- 地域で活動をしている団体は、どんなことを課題と捉え、どんな地域活性化のアイデアを持っているのか、話をお聞きしました。
- 開催期間：令和5年10月12日～10月31日
- 参加人数：45 団体、約 100 人

2) 団体にお聞きしたこと

- ①事業内容、事業運営等における現状の課題、今後の事業活動の展望
- ②カ点を置くべきこと、魅力づくりのアイデア、活用すべき資源・PR できる点

① 団体から出た現状の課題

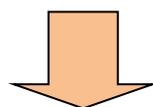
※前回分(10年前に出された課題)も掲載しています。

分野	課題(10年前)	課題(現在)
①自然環境保全	<ul style="list-style-type: none"> • 武儀の自然をいかに次の世代に引き継ぐかが課題 • 川に雑魚がいなくなった 	<ul style="list-style-type: none"> • 地域美化、景観活動(草刈り、津保川の清掃) • 鮎が釣れなくなった • スtockヤードが増えてきている
②防犯・防災	<ul style="list-style-type: none"> • 消防団員の確保が困難 • バス停が暗い 	<ul style="list-style-type: none"> • 夏の大雨の防災 • 消防団の人員確保 • ポンプ操作のわかる団員の減少
③地域文化の伝承	<ul style="list-style-type: none"> • 神楽や祭りの後継がない • 道の駅のイベントがなくなった • 地域に力を生むイベントがなくなった 	<ul style="list-style-type: none"> • NPO が企画するイベントが少ない

分野	課題（10年前）	課題（現在）
④高齢者支援	<ul style="list-style-type: none"> ・困った時に助け合える近所付き合いをしていない ・独居の方の生活習慣が問題 ・サロンに男性が来ない ・老人会への入会が少ない 	<ul style="list-style-type: none"> ・高齢者でも参加できるイベントが少ない ・お年寄りだけの家庭の情報を得る手段がない
⑤子育て支援	<ul style="list-style-type: none"> ・子どもを連れて遊ぶ場所がない ・同年代の子育て世代が少なく、相談相手がいない ・公園がない 	<ul style="list-style-type: none"> ・子供の減少 ・公園がない
⑥青少年育成	<ul style="list-style-type: none"> ・子ども会の活動が少ない ・教育への意識が低い 	<ul style="list-style-type: none"> ・進んで参加しようという人が出てこない
⑦観光・交流	<ul style="list-style-type: none"> ・道の駅と上之保温泉の連携がない ・道の駅の有効活用 	<ul style="list-style-type: none"> ・道の駅、しあわせの気の森が十分に活用されていない ・西小学校の活用、環境整備
⑧結婚支援	<ul style="list-style-type: none"> ・縁談を取り持つ人がいない 	※意見はありませんでした
⑨健康・スポーツ	<ul style="list-style-type: none"> ・スポーツ競技のチーム編成ができない 	<ul style="list-style-type: none"> ・スポーツ大会の推進 ・スポ少などに子供が集まらず、親にも負担が
⑩買い物支援	<ul style="list-style-type: none"> ・お年寄りの買い物が不便 	※意見はありませんでした
⑪福祉有償運送	<ul style="list-style-type: none"> ・福祉有償運送を知らない人がいる 	※意見はありませんでした
⑫特産品の販売	<ul style="list-style-type: none"> ・特産品の販路がない ・土産物に個性がない 	<ul style="list-style-type: none"> ・野菜の販売が減少（高齢化、獣害など） ・お米の値段が安く、経営が難しい ・道の駅の手数料が高い。 ・地元オーガニック農作物の販売所がない

分野	課題（10年前）	課題（現在）
⑬生活環境	<ul style="list-style-type: none"> • 道路へのポイ捨てが多い • 県道沿いの竹が密集し、景観を阻害している 	<ul style="list-style-type: none"> • 空き家対策、環境整備 • 高校から武儀をつなぐ公共交通 • バスの本数が少ない • 運転をしなくなった際の不安 • ガソリンスタンドが将来的になくなる • ケーブルテレビ、地デジ、光回線など地区によっては非対応
⑭農地の有効活用	<ul style="list-style-type: none"> • 耕作放棄地が多い • 農地の借り手がいない 	<ul style="list-style-type: none"> • 土地の管理 • 米の生産者の減少 • 休耕田、荒れた農地、耕作放棄地の管理 • 補助金などがあっても農業で儲けるのが難しい • 肥料や資材の値上がり
⑮林業の活性化	<ul style="list-style-type: none"> • 椎茸栽培の後継者不足 • 間伐が必要 	<ul style="list-style-type: none"> • 椎茸生産者の高齢化、産業自体の衰退 • 近場に原木を切れる場所がない • 萌芽新生時期の下刈り、獣害 • 椎茸生産者の後継者がいない • 国内材の生産コストが高い • 山林の管理が出来ないことにより災害の一因に
⑯集落維持	<ul style="list-style-type: none"> • 集落の行事がなくなった • 高齢化のため、地域の役のなり手がいない 	<ul style="list-style-type: none"> • 人口減少、高齢化 • 若い世代の誘致 • 世代による感覚の違い • 地域に残っている人への負担 • 若い人が出ていく • 役が何度もまわってくる（役員の数が増えない） • 行事が多い

分野	課題（10年前）	課題（現在）
⑰有害鳥獣対策	<ul style="list-style-type: none"> ・鳥獣被害の深刻化 ・猟師の減少 	<ul style="list-style-type: none"> ・獣害 ・猟銃免許所持者の減少
⑱商工業	<ul style="list-style-type: none"> ・小売店の廃業 ・働く場がないから人が出て行ってしまう 	<ul style="list-style-type: none"> ・通勤、働くところが無い ・組織の高齢化、後継者問題 ・電気代高騰
⑲その他	<ul style="list-style-type: none"> ・地域の方は、NPO 法人日本平成村は特定の人が運営していると思っている ・「富之保、中之保、下之保」の地域意識 ・人の横のつながりがない ・空き地、空き家の増加 	<ul style="list-style-type: none"> ・組織や団体が多く複雑 ・団体の活動予算の減少



各分野に様々な課題があり、武儀で活動する団体は「こんなことができればいいな」というアイデアをそれぞれ持っています。

個々の団体では、実施が困難なことも、複数の団体や地域住民が連携をすることで実現可能になることがあります。多様な武儀の力を結集することで、住民や団体が持つ個性や得意な活動をさらに活かし、補完し合うことが可能となります。

※②カ点を置くべきこと、魅力づくりのアイデア、活用すべき資源・PR できる点については、巻末資料に掲載しています。

1 2 津保川中学校ワークショップ

「日本平成村の新しいキャッチコピーを考えよう」



1) 開催にあたって

NPO 法人日本平成村理事会において、新たな 10 年の地域振興計画を策定するにあたって、武儀地域の新たな「キャッチコピー」を作成しようということになりました。そのキャッチコピーを津保川中学校の生徒たちに考案してもらえないかと打診したところ、快く引き受けてくださいました。

当日は、NPO 法人日本平成村の職員および地域支援職員（関市職員）がファシリテーターとなってワークショップを実施しました。

その結果、中学生たちから 15 ものキャッチコピーが提案されました。その後、NPO 法人日本平成村理事会において、理事、地域支援職員、事務局職員の投票で 3 案を選定し、理事による決選投票にて「ぜひおいで 良い仲間たち いなか町」に決定しました。

2) 開催概要

- ・開催日：令和 5 年 11 月 21 日（火）
- ・実施場所：津保川中学校ランチルーム
- ・参加者：津保川中学校 1 年生～3 年生
- ・ファシリテーター：NPO 法人日本平成村職員および地域支援職員

3) 実施内容

- ① 日本平成村とは？ NPO 法人日本平成村とは？
- ② ワークショップ①「日本平成村に来たら体験してほしいこと 3 つとその理由」
- ③ ワークショップ②「日本平成村の新しいキャッチコピーを考えよう」

4) 決定したキャッチコピー

ぜひおいで 良い仲間たち いなか町

5) 提案されたキャッチコピー一覧

平成を忘れるな ～全てを兼ね備えた最高のまち～

昔話のモデル都市

自然も歴史も奥深い武儀

宇宙に届け Hey! Say! Fly!

日本のかたすみに残されたすてきなロマンあふれる町

自然に笑顔が溢れ、魅力でいっぱいな町

ぜひおいで 良い仲間たち いなか町

ようこそ緑のユートピア

過去と未来をつなぐまち

自然・優しさ No.1!

魅力ムギムギ武儀の町

日々成長していく日本平成村

あゆとともに歩もう 準備はいいかい! Are you ready?

豊かな自然と助け合いあふれるまち

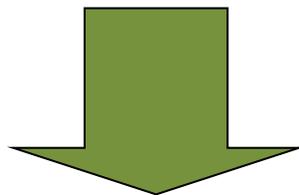
豊かな自然とおいしいごはん みんなが集まる日本平成村

13 武儀の課題（まとめ）

地域づくりアンケート、武儀がやがや会議、ミライの武儀を語る会（団体ヒアリング）等から洗い出した武儀地域の課題を下記の通りまとめました。

No	分類	課題
1	観光・交流	道の駅、しあわせの気の森が十分に活用されていない
2	観光・交流	NPO が企画するイベントが少ない
3	観光・交流	旧武儀西小学校が活用されていない
4	健康・スポーツ	スポーツ大会が少ない
5	健康・スポーツ	スポ少などに子供が集まらず、親にも負担が
6	高齢者支援	高齢者が参加できるイベントが少ない
7	高齢者支援	高齢者世帯が情報を得る手段が限定的
8	子育て支援	子供の減少
9	自然環境保全	地域美化、景観活動（草刈り、津保川の清掃）
10	自然環境保全	ストックヤードが増えてきている
11	集落維持	若い世代の誘致
12	集落維持	世代による感覚の違い
13	集落維持	地域に残っている人への負担
14	集落維持	若い人が出ていく
15	集落維持	役が何度もまわってくる（役員の数が増えない）
16	集落維持	行事が多い
17	商工業	補助金などがあっても農業で儲けるのが難しい
18	商工業	通勤、働くところが無い
19	商工業	組織の高齢化、後継者問題
20	生活環境	空き家対策
21	生活環境	高校から武儀をつなぐ公共交通
22	生活環境	バスの本数が少ない
23	生活環境	運転をしなくなった際の不安

No	分類	課題
24	生活環境	ガソリンスタンドが将来的になくなる
25	生活環境	公園がない
26	生活環境	ケーブルテレビ、地デジ、光回線など地区によっては非対応
27	農地の有効活用	土地の管理
28	農地の有効活用	米の生産者、収穫できる人の減少
29	農地の有効活用	休耕田、荒れた農地
30	林業の活性化	山林の管理
31	林業の活性化	椎茸産業の衰退
32	林業の活性化	木材の需要減少、森林整備の衰退
33	防犯・防災	夏の大雨の防災
34	防犯・防災	消防団の人員確保
35	防犯・防災	避難場所までの距離、避難場所の少なさ
36	特産品の販売	野菜の販売が減少
37	有害鳥獣害対策	獣害による野菜被害
38	その他	組織や団体が多く複雑



主要課題が明確化されました。これらの課題を解決することで武儀地域は良くなります。

これらの課題を解決するために「これまでの10年間に実施してきたこと」を振り返り、実施事業の継続の有無を精査しました。また、これからの10年で「新たに取り組むこと」を選定しました。

14 これからの10年に向けて

基本的な考え方

NPO法人日本平成村の各委員会が、地域振興の各分野を担当し、地域づくりを実施していきます。この委員会には、分野に関係する団体や個人が所属し、相互の協力の下に活動を行います。また、各委員会で共通する課題は、委員会が相互連携して解決を図ります。

NPO法人日本平成村が行う地域づくりの活動には、誰でも参加することができます。武儀に住む人が広く参加する裾野が広い活動を行うことが重要です。

このような地域づくりの仕組みを持つことで、武儀を代表する住民組織となります。



地域内で活動する団体が、様々な課題とアイデアを持っています。

また、「何か地域のために出来ることないかな」と地域貢献の気持ちを持っている人も多くいます。

その志を集め、そのアイデアを生かし、住民や団体間の連携、地域の総合力で地域課題を解決することが、これからの武儀にとって大切なことです。

「誰もが地域の主役」であり、地域というステージで活躍できます。

15 地域づくり施策・具体的な課題の解決策（各委員会の事業）

これからの10年の地域づくり施策を決定するにあたり、これまでの10年で取り組んできた事業の見直しに取り組みました。

その結果「事業を継続するもの」「事業を終了するもの」「事業を移行するもの」「事業のやり方を見直すもの」を精査しました。

また、新たに取り組む施策についても計画しました。

生涯学習 委員会

情報と人が行き交う いなかまち

これまで行ってきた事業と継続の有無

事業名	継続の有無	備考
①NPO通信「日本平成村」発行	継続	2024年3月時点で204号発行
②情報基地「武儀」の設置と運営	継続	公式HP、SNSによる情報発信
③多世代交流サロンの運営	継続	ふれあいサロンとして実施する
④武儀のむかし話「伝説ロマンウォークの会」運営	継続	伝説ロマンウォークの会の支援、HP管理、イベントの宣伝などを実施
⑤「ムーンライトコンサート in 高澤」開催支援	継続	運営費の一部助成。通信で広報協力
⑥「スポーツの仲間づくり」支援	継続	申請者に対して資金援助を実施
⑦「武儀青少年健全育成協議会」支援	継続	運営費の一部助成。通信で広報協力
⑧成人式 集合写真プレゼント	継続	HPで写真公開（パスワード制）
⑨武儀人材バンクの設置と活用（講座の開催）	見直し	講座の開催のみで継続していく

新たに取り組むこと

SNSを活用した武儀の情報発信強化	高齢者がパソコンやスマートフォン等を使うようになる講座の企画
しあわせの架け橋短歌大会の実施、武儀の文化継承事業	武儀生涯学習センターにて地元先生による子ども向けの習い事開催
武儀生涯学習センターにてスポーツ大会企画	子どもが主役になれるイベントの企画

【各事業の内容】

地域をよりよくするためには、まず、住民が情報を共有することが不可欠です。地域内の情報を、様々な媒体を活用し、幅広い世代に発信します。

また、世代を超えた住民の交流の場をつくります。そして、地域の歴史、文化、人の持つ知恵や技などの地域資源が、次の世代に受け継ぐことができる仕組みをつくります。

①NPO通信「日本平成村」発行（継続）

NPO 法人日本平成村の運営報告、地域づくり活動の様子、地域住民へのお知らせを掲載する広報紙を作成し、広く地域内へ周知します。

- NPO通信「日本平成村」の定期的な発行
- 特集記事の掲載、特集号の発行
- 一般公募した取材員、子ども記者による取材と記事の掲載、写真の募集 等

②情報基地「武儀」の設置と運営（継続）

武儀生涯学習センターに、「情報基地むぎ」を設置し、様々な情報（イベントや催しの告知、ボランティアの募集など）を集約し、情報を多世代に届くように工夫して発信します。

- NPO 法人日本平成村のホームページの充実
- 【新】 SNS を活用した武儀の情報発信強化
- 住民の声を直接聴く「目安箱」「オンラインフォーム」の設置
- 「武儀がやがや会議」の実施
- NPO 法人日本平成村の活動報告会の開催
- 「100年後の武儀に残したい」写真展の開催、写真集発行

③ふれあいサロンの運営（継続）

武儀生涯学習センターに、世代を超えていきいきと歓談できる場をつくります。また、多世代交流サロンにおいて、お年寄りの知恵を次世代に伝える講習、昔の手遊び、読み聞かせ、子育て中の母親のためのストレス解消講座などの「プチイベント」を開催し、多世代が楽しく集える場にします。

- 多世代が交流するサロンの運営（気軽に飲食できるカフェ、漬物などを持ち寄れる場所）
- 子どもを自由に遊ばせるスペースの確保
- 多世代が交流するプチイベントの開催
- 多世代交流サロンにおける発表の場づくり（生涯学習センター中庭での催し「青空市、音楽イベント」など）、憩いの場でのミニ作品展・美術展等の発表

④武儀のむかし話 伝説ロマンウォークの会 運営（継続）

武儀のむかし話を活用したウォーキング大会を実施します。また、武儀のむかし話を集め、後世に残します。

⑤「ムーンライトコンサート in 高澤」開催支援（継続）

「ムーンライトコンサート」の運営費の一部を助成します。NPO 通信において広報協力します。

⑥「スポーツの仲間づくり」支援（継続）

スポーツ団体に対して、運営費の一部を助成します。

⑦「武儀青少年健全育成協議会」支援（継続）

青少年健全育成協議会の活動費の一部を助成し、武儀地域ならではの地域を巻き込んだ活動を応援します。

⑧成人式 集合写真プレゼント（継続）

成人式の写真を撮影し、NPO 法人日本平成村公式ホームページにて自由に閲覧・ダウンロードができるようにします（パスワード制にて）。成人式の様子は、NPO 通信に掲載します。また、幕や小物等を活用し、成人式会場に「映えるフォトスポット」を設置し、場を盛り上げます。

※従来は、印刷した写真を新成人に郵送しておりましたが、昨今スマートフォンアプリ等を通しての共有が盛んになってきたことから、令和 4 年度より電子データでの配布に切り替えました。

⑨武儀人材バンクの設置と活用（講座の開催）（見直し）

→武儀の人材を活かした各種講座の開催

武儀には、様々な特技を持った人が住んでいます。その人たちに講師を依頼し、各種講座を開催します。

- 武儀の人材の発掘、関係性の構築
- 武儀の人材を活用した講座（一般向け）の開催
- 高齢者の困りごとを解決する人の把握
- 【新】 武儀生涯学習センターにて地元先生による子ども向けの習い事開催

※前回の振興計画には「人材バンクの設置」を記載しておりましたが、個人情報管理等の観点から「人材バンクの設置」は取りやめ、講座の開催を主軸に開催していくことにしました。

⑩高齢者がPC やスマートフォン等を使えるようになる講座の企画（新規）

スマートフォン、パソコンを使いたいけれど使い方がよく分からない、まだ慣れていないという高齢者の方々を対象とした講座を企画します。

<企画例>はじめてのPC 講座、はじめてのスマートフォンスタート講座、パソコンで年賀状作成講座、やっぱり習いたいWord、Excel 講座、はじめようLINE 講座 等

⑪しあわせの架け橋短歌大会の実施、武儀の文化継承事業（新規）

しあわせの氣の森にある架け橋を活用した短歌大会の実施。石碑に込められた想いと共に市内外に武儀をPR します。

⑫武儀生涯学習センターにてスポーツ大会企画（新規）

武儀生涯学習センターアリーナにて子供から高齢者まで幅広い年代の地域住民が触れ合い、楽しく競い合えるスポーツ大会・催し等を企画します。

⑬子どもが主役になれるイベントの企画（新規）

ハロウィンイベントやクリスマス会など子供が主役になれるイベント企画します。

これまで行ってきた事業と継続の有無

事業名	継続の有無	備考
① 武儀のイベント開催	継続	夏祭りや、秋祭りを実施
② 津保川花火大会・津保川産業祭の支援	継続	金銭的支援、シャトルバス運行
③ 武儀体験プログラムの検討	継続	ロケットストーブ、五平餅づくり等
④ 「しあわせの氣の森」の活用	継続	景観維持・美化活動
⑤ 農業の支援	見直し	コスモスの種子配布を実施
⑥ 林業の支援	見直し	協議を重ねたが実施には至らず

新たに取り組む事業

新たな特産品の企画開発	特産品生産者への支援（生産、広報など）
生涯学習センターを活用した朝市等の開催	新たな観光マップ・観光パッケージの作成
津保川を活用したサイクリングロード等の企画	農機具の不用品交換会企画
武儀の草刈り隊結成。草刈りの支援、草刈り機の貸し出し、講習会の実施	耕作放棄地・休耕地の活用および生産者への貸し出し支援
武儀の森林資源の見える化	林業の魅力発信

【各事業の内容】

武儀が元気で活発な地域となるように、イベントの開催や農林業振興等に対する支援を行います。昔懐かしいイベントの復刻、地域製品のPR及び活用、地域資源を活かした事業の調査などを実施することで、地域活力の創出を目指します。

また、前回の振興計画では、「農業の支援」「林業の支援」を計画しておりましたが、十分な取り組みに至りませんでした。しかしながら、地域づくりアンケートにおいて「農地・山林などの維持管理について」は最重要課題となっていることから、力点を置くべきことだと捉え、様々な取り組みにチャレンジします。

①武儀のイベント開催（継続）

地域産品を活用した武儀ならではのイベント開催や昔の催しを復刻するイベントを開催します。＜企画例＞日本平成村ならではの祭事等の開催、懐かしいふるさとの味・食のイベントの開催、地元の食材を利用した料理コンテスト等。

②津保川花火大会、津保川産業祭の支援（継続）

津保川花火大会及び津保川産業祭の費用の一部を助成し、地域の人々が楽しめる事業を応援します。

③武儀体験プログラムの検討（継続）

武儀固有の資源を活用した体験プログラムを創り、多くの人々が交流し、体験できる仕組みを検討し、実施します。

＜プログラム例＞

- ・八滝ウディランドにてナイフで火起こし体験、森林セラピーの開催
- ・木材を使った工作教室、木こりの仕事を現場で見たり体験する会
- ・地域資源（米作、野菜、椎茸など）を活用した体験プログラム 等

④「しあわせの気の森」の活用（継続）

道の駅平成の裏山に整備された「しあわせの気の森」の景観を維持します。また、しあわせの気の森を活用した催し等を開催します。

⑤農業の支援（見直し）

新たな特産品の開発を支援するなど、地域で取り組める農業活動を促進します。また、耕作放棄地・休耕地の活用を支援します。

- ・獣害対策（猿の被害の実態調査など）
- ・【新】新たな特産品の開発および開発支援
- ・【新】特産品生産者への支援（生産、広報など）
- ・【新】武儀生涯学習センターを活用した朝市等の開催
- ・【新】農機具の不用品交換会実施

- ・【新】草刈り隊結成。草刈りの支援、草刈り機の貸出、講習会の実施
- ・【新】耕作放棄地・休耕地の活用および生産者への貸し出し支援

⑥林業の支援（見直し）

椎茸などの林産物のPRと新しい雇用をつくる木材を活用したビジネスを調査します。また、林業の魅力や可能性、武儀の森林資源を見える化し、林業に興味を持ってもらえる人を増やします。

⑩武儀の新たな観光マップ・観光パッケージの作成（新規）

武儀地域最新の情報を反映した新しい観光マップを、手書きやデジタルデータ等で制作します。また、地域資源を活用した観光パッケージを作成します。

⑪津保川を活用したサイクリングロード等の企画（新規）

津保川の自然豊かな景観を楽しみ、心地よく自転車で周遊することができるサイクリングロード等を企画します。

これまで行ってきた事業と継続の有無

事業名	継続の有無	備考
①武儀のみまわり隊によるパトロール	継続	ピンクの衣服で見守り活動実施
②見守り隊をつくろう（高齢者世帯の見守り）	継続	巡回バス、有償運送時に見回りを実施。世帯カードの作成
③便利な地域内バス運行	移行	事務局事業へ移行
④人の力を伸ばして生かそう（サポーター養成など）	見直し	AED、CPR（心肺蘇生法）、三角巾、講習会。認知症サポーター養成講座開催
⑤要援護者家庭の除雪、通学路の除雪	継続	降雪時、歩道中心に除雪を実施
⑥ササユリ保護育成会の支援	継続	活動費支援。ささゆり祭りの広報

新たに取り組む事業

空き家の把握、空き家の活用支援	移住希望者等への地域内紹介
移住お試し住宅の整備・管理運営	多世代が集まれる居場所の創出

【各事業の内容】

少子高齢化の中にあって、武儀に安心していつまでも暮らすことができるように、地域みなでお年寄りの暮らしの安全を守ります。また、生活環境の保全に努め、みんなが気持ちよく武儀で暮らせる環境をつくります。

①武儀のみまわり隊によるパトロール（継続）

地域内を走るデマンドバスを活用したパトロールを実施することにより、安心して暮らせる環境づくりを進めます。地域内デマンドバスに、防犯啓発のステッカーを貼り、バス運転手によるパトロールを実施します。

②見守り隊をつくろう（高齢者世帯の見守り）（継続）

地域のみんなが見守りの意識を持ち、連携してお年寄りの暮らしを支援する仕組みをつくりまます。実施内容については、自治会、郵便局、消防団等地域と密接に関わる団体等と意見交換を行い検討します。

③便利な地域内バス運行（移行）

前回の振興計画では「利用者のニーズ把握調査」「買い物、診療所への特急便の検討」「地域内バスの乗車体験」「福祉有償運送の利用の仕方のPR」等に取り組むことを検討しておりましたが、これらの事業は事務局事業として実施することが適当であるため、事務局事業へ移行します。

④人の力を伸ばして生かそう（サポーター養成など）（見直し）

前回の振興計画では、ヤングシルバー層（熟年層）の力を活かすために、ボランティア育成講座、高齢者支援のためのサポーター養成講座等を開催することを計画し「AED講習会」「CPR（心肺蘇生法）講習会」「三角巾の使い方講座」「認知症サポーター養成講座」等を開催しました。

しかしながら、参加人数はごく少数であったため、今後は企画内容や広報手段を見直し、各団体と連携しながら講座を企画します。

⑤要援護者家庭の除雪、通学路の除雪（継続）

ひとり暮らし、高齢者世帯のみの家庭の要援護世帯で、自分で除雪できない場合に、除雪を手伝います。また、通学路の歩道の除雪を行います。

⑥ ササユリ保護育成会の支援（継続）

ササユリは、旧武儀町の花で、自然環境のバロメーターです。現在は、自然環境の変化等によりその数が激減しているため、ササユリの保護育成を行う団体への助成を行い、自然環境保全に努めます。

⑦ 空き家の把握、空き家の活用支援（新規）

武儀地域に増えている空き家の状況を把握し、空き家の活用を支援します。空き家に専門的知見を有する団体等と連携し、空き家相談会等を実施します。

また、空き家バンクを運営する行政と連携します。

⑧ 移住希望者等への地域紹介、移住お試し住宅の整備・管理運営（新規）

武儀地域へ移住を検討している人に対しての地域内紹介を行います。また、武儀への移住を検討している方々が利用するための「移住お試し住宅」を整備し、管理運営します。

⑨ 多世代が集まれる居場所の創出（新規）

世代に関係なく多世代が気軽に集まり、どんな方々でもくつろげる「居場所」を設置します。地域資源をはじめ、既存の空き家や空き店舗・施設等を有効活用し、居場所を創出します。

これまで行ってきた事業と継続の有無

事業名	継続の有無	備考
①むぎファミリーサポート事業	継続	むぎっこ eco プロジェクト、はびはびお下がり譲渡会等を実施
②いなかっこクラブ	継続	夏休み期間学習センター内で一般サポーターと共に実施
③乳幼児学級応援事業	継続	ペンギンクラブの保険料助成、協力
④買い物支援事業（移動販売事業の可能性調査）	移行	事務局事業へ移行
⑤ほがらか起業塾	見直し	社協の「おしゃべりカフェ」に協力

新たに取り組む事業

健康サロン・おしゃべりカフェなどの企画	武儀生涯学習センターにて日常的な子どもの学習支援
武儀生涯学習センターにて日常的な子どもの遊び場づくり	子ども食堂、お年寄り食堂等の企画

【各事業の内容】

武儀の大切な宝である子どもを、地域で健やかに育てるように支援をします。また、地域をつくってきた高齢者が、最期まで武儀で安心して暮らせるように支援します。

①むぎファミリーサポート事業（継続）

一時的に子どもの面倒をみる援助体制をつくります。特に、市の制度では対応できない、緊急的な子どもの預かりを行えるよう体制を整備します。

子育てサポーターが、支援が必要な家庭に訪問し、緊急的に子どもの面倒を見ます。

②いなかっこクラブ（継続）

子どもを地域で育むためのプログラムをつくり、地域の大人が先生になり、学びを支援、工作や実験教室などを開催し、子どもの充実した夏休みの生活を応援します。

- ・夏休み期間の子どもの支援（夏の勉強部屋）
- ・折り紙、彫刻、化学実験教室の開催など、子どもが楽しく過ごせるプログラムをつくります
- ・子どもの学習を支援できる人（大学生、教師 OB など）を募り、子どもの学ぶ意欲を応援します

③乳幼児学級応援事業（継続）

武儀乳幼児期家庭教育学級の参加者の傷害保険料の助成を行います。

④買い物支援事業（移動販売事業の可能性調査）（移行）

前回の振興計画では「買い物難民の実態とニーズを調査し、買い物支援の手法を検討」することを計画していたが、事務局事業として行うことが適当であるため移行します。

⑤ほがらか起業塾（見直し）

前回の振興計画では「ほがらか起業塾」として、「高齢者の生きがいをつくるためにコミュニティビジネスの起業講座や先進地視察を行う」ことを計画していましたが、十分な取り組みに至りませんでした。

今後は、コミュニティビジネス※の起業を促進させるために、行政や商工会等の各種団体と連携し、講座等を実施していきます。

※コミュニティビジネス…地域が抱える課題を、地域資源を生かしながらビジネス的な手法によって解決しようとする事業。

⑥健康サロン・おしゃべりカフェ等の企画（新規）

「健康」をキーワードに、気の合う仲間同士で気軽に集まり、おしゃべりができるカフェ等を企画します。

⑦学習センターにて日常的な子どもの学習支援・遊び場づくり（新規）

武儀生涯学習センター内に、日常的に子どもたちが学習したり、遊ぶことができる居場所をつくります。元教師や元保育士の方々に見守りや学習支援をお願いし、子どもたちが安全に過ごせるように配慮します。

遊び場については、昭和初期の遊びから現代の遊びまで、多様な遊び方が学べるような仕掛けをつくります。

⑧子ども食堂、お年寄り食堂等の企画（新規）

子どもやお年寄りが気軽に集い、郷土食等をみんなで食べることで、地域のつながりやコミュニケーションを活性化させます。

これまで行ってきた事業と継続の有無

事業名	継続の有無	備考
①福祉有償運送事業	継続	今後、利用者の増加が見込まれる
②地域内バス運行業務	継続	デマンドバスとして継続
③施設管理業務（指定管理受託事業）	継続	管理施設を使用したイベントを積極的に開催していく

【各事業の内容】

NPO 法人日本平成村の基幹事業である福祉有償運送、関市からの指定管理事業、地域内バス運行業務を実施します。

住民生活を向上させるために、地域内や市内病院等への移動を容易にし、さらに、心豊かに暮らすことができるように、学習の機会を確保し、居場所をつくります。

①福祉有償運送事業（継続）

高齢者や障がい者等の車の運転が困難な人が、気軽に通院できるように、外出手段を確保します。

福祉有償運送は、一般的なタクシーの半額以下の低料金で利用可能であり、高齢化がさらに進行する武儀地域において、益々需要が増える事業です。

今後は住民の方々への周知やPRを強化し、運転手の安定的な確保や配車システムの効率化を行うなど、事業の向上に努めます。

②デマンドバス運行業務（継続）

地域内の移動がより便利になるように、デマンドバスの運行を行います。バス停設置や利用方法については、適宜見直しを行います。

③施設管理業務（指定管理受託事業）（継続）

関市からの指定管理業務（武儀生涯学習センター、関市図書館武儀分館等）を受託し、地域住民の方々を使いやすい施設の運営を行います。

16 武儀地域振興計画の進捗管理、評価等について

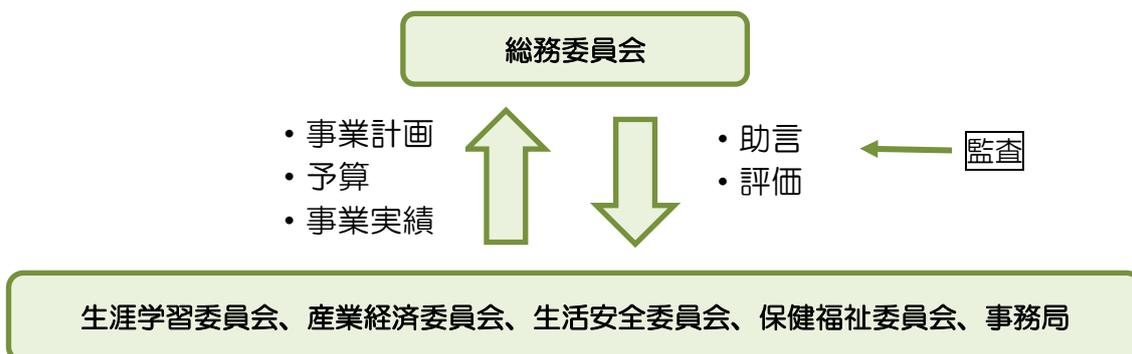
1) 計画の推進

本計画は、NPO法人日本平成村が様々な団体と連携して実施します。また、武儀に居住する人が、年代を超え、地区を超えて、協力し合い本計画を推進することで、人と人とのつながりを深め、住み良い武儀にします。

2) 計画の進捗管理と評価

本計画は、NPO法人日本平成村の4つの委員会（生涯学習委員会、産業経済委員会、生活安全委員会、保健福祉委員会）と事務局により事業を実施します。その進捗管理については、各委員会と事務局が、自らの所管する事業を検証して、毎年、具体的な実施計画を立てます。

さらに、総務委員会は、4つの委員会及び事務局が実施する事業計画、予算等の全般を総括し、助言や活動実績を評価することで、計画の実行性を確かなものにし、事業の効果を高めます。



3) 住民の声を継続的に聞く

本計画の事業の評価や見直しに当たっては、住民の意見を十分に取り入れなくてはなりません。そこで、「がやがや会議」（住民ワークショップ）を継続的に実施し、事業の問題点や改善策を考えます。また、住民の意見を常時聴くことができるように「目安箱」の設置、投書、メールなどを受け付けます。

4) 計画の見直し

本計画は、必要に応じて適宜見直しを行うものとし、住民の声を聴き、新たな課題を洗い出し、必要な事業の追加を行うものとします。

また、計画の目的が達成されたときや計画期間が経過するときは、本計画を見直します。

17 巻末資料

ミライの武儀を語る会（団体ヒアリング）において出された「①力点を置くべきことや新たにに取り組むべきこと」「②魅力づくりのアイデア」「③活用すべき資源・PR できる点」は下記のとおりです。

①武儀地域として力点を置くべきことや新たにに取り組むべきこと

<文化>

昔話が豊富にあり、先人からの贈り物がある
他所に行って自慢できることが「むかし話」
中学校に「地域の文化を知る」教育がある。小学校のうちに「むかし話」を知っておく
自然のよさ、美しさを知ってもらおう
武儀といえばこれ！という特徴があるといい
地域行事の継続化

<イベント・観光>

道の駅は結構はやっているの、裏の公園やパターゴルフなど活用するといいと思う
集客力のある道の駅平成をよりよくするために設備充実やイベントを増やしてみたい
地域内循環。道の駅の機能をしっかりしてほしい
道の駅平成の手数料が高すぎる。お茶、もち麦、野菜等もはねられる
道の駅平成手数料取るなら、もっと売る努力をしてほしい。ポップも作ってください
武儀の生産者限定で手数料を低くできないか？
イベントスペースの出展料が高い。地元民、地元の農家限定で安くしてほしい
道の駅平成の組織体制が意味がわからない。道の駅の勉強をしてきてほしい
地元オーガニック農産物販売所。道の駅の水車小屋横を活用しては？
道の駅に来るお客さんが欲しがっているのは野菜。もっと野菜をたくさん置く努力を
道の駅裏の教育の森をもっと活用していく
平成から令和へ元号が変わり令和への道しるべに
令しくは平和に生きるために、中西進さんの碑の場所を活用する
土日でもデマンドでそば屋に来てほしい
自治会のスポーツ部会にも協力してもらい、体力測定やスポーツを各地域の集会所で開催することができる
地元の役員さんにスポーツイベントを行うきっかけ作りをしてほしい
高齢者のサロンでモルック等、高齢者でもできる軽スポーツや体力測定ができる
NPO でスポーツ大会を展開していく

NPO が企画して参加しやすいものを作り「私がやりたい」を思えるものをする (今は一人でも楽しめることが多い。人との関わりが減っている人を外に出す)
「そうな」というキノコ。特産物として地域ぐるみで盛り上げていく
大規模なしいたけ狩り(団体でできれば)
観光入込客の増加
観光資源の整備・PR

<環境>

空き家対策(一人暮らしのお年寄りが多い)
空き家をしっかり行政が管理して田舎暮らしがしたい若い世代に積極的に誘致してほしい
地域の高齢化が進むと同時に空き家耕作放棄地も出てくると思う
休耕田を活用して町の景観をよくしてほしい
休耕田の草刈りを自分で責任をもってやる
地域美化(草刈り)
県道など言われたら刈る程度で整備できていない(予算が出ていない)
NPO 主導による「草刈十字軍」の結成も考えていく必要もあろうかと思いません
県道沿い、川沿い、山側から出てきている樹木の伐採
荒れた田んぼなどがないようにする
今後も休耕田が増えるため、草刈りなど行い管理していく
里山と荒れた原野との野生動物の棲み分けのため空き地を広くとる
里山は手入れしながら木を育てないといけない
自分の農地は自分で守る、電柵補助金事業などもある
農地の荒れ放題のところをなんとかしたい
親世代の山地の土地に行ったことがない。使ってくれる人に管理してほしい
津保川を清掃する(景観活動)
昔は川がよかった。大きな石がゴロゴロあった。山にえんていが出たおかげで、砂ばかり流れるようになった
自然環境は 40 年前の方がはるかに良い
「これは！」というものが無いのがよいのかも
若い世代、子育て世代にやさしい地域づくり、ここに住みたいと思わせる町であってほしい
今の夏、道の駅の前の川あそびは SNS で話題になり連日にぎわいました
できる限り道路を作る時に歩道をつける
武儀は通過地点になってしまっている

西洞にもクマがいる
通りが多い所（見通しが分かるように）
山が多いので開発が進まない
毎年毎年の夏の大雨の防災
土地の低いところが多い気がする
スギ、ヒノキの価格をもっと上げてほしい

<人>

若い地元の間人が畑をやろうとしても断られ、別の地域で畑をやっている
地域づきあいは嫌ではないが、おじいさん世代の当時の感覚で言われると困る（「昔はこうだった〜」や行事が多い。強制される。昔から続いているというだけでやっている）
地域に残っている人にすべて課されると困る
若い人の声を取り上げる
既存組織の若返り、見直し
人を育てる
武儀で特産品を作っても後継者問題が出る
今の70代が一番層が厚いので、その世代がいなくなったときにどうなるか
人数が維持できるように（80~100人が維持できたら）
人口を増やすこと
過疎化は日本全国いっしょ。田舎の良さはなんだろう？
余分な他所の人が来なくて良いのではないか
狩猟免許取得者を増やす
住んでみたいと思わせるアピール（地域のいい所）
農業の担い手不足を解消するための補助事業が
土地など簡単なのがあれば息子たちがわかる
不満を感じていない
高齢者はこの状態で満足しているのではないか？
組織や団体が多すぎて複雑である。もっと組織系統の重複をなくして、すっきりさせることが望まれる
組織が偏って一部の人しか動いている
武儀のグループは何をしているか把握する。女性は何をしている？グループを作っている
「見て見ぬふりをしない」…気がついたら自分から進んで行動しよう（協力者が必要ならNPOに相談してチーム作りをしていこう）
NPOの中に委員会をつくっていく

<生活>

子供が小さいときは田舎暮らしは楽しいけど、高校になると交通の不便でみな出ていってしまうので、バス代金の負担と交通手段を確保してほしい
高校から武儀をつなぐ公共交通が必要
子供の支援
合併は嫌（小学校）
ガソリンスタンドを残すこと
今後2～3年で武儀地域のガソリンスタンドが無くなってしまおうそうです
休耕地も多くなってきておりガソリンスタンドの用地はあると思うので企業に働きかけスタンドの出店を
運転をしなくなったときに、買い物などはどうするか
マツオカなどが撤退したら生活に支障が出る
目に見えない住みにくさがある
お年寄りだけの家庭は情報を得る手段がない。地域で集まるイベントがない
楽しくできる場づくり
若い人が出てかないようにしてほしい
通信ネット環境の改善 (大企業などの事業所サテライト化及び在宅勤務への対応)

<仕事>

企業誘致（大洞区のように）
工業（場）誘致
企業誘致
市が工場を勧誘してくれると助かる
地域を巻き込んだ収益事業を展開していく
通勤、働くところがない
若者が畑をやれるように、土日休みの職場があると良い
管理料に頼るのではなく、事業をしていくこと。儲けて自前のお金で動けるように
日本というブランドを使って収益を上げていく
やってきたことに対しては評価をして、次を見据える。成果に基づいて動いていく
農業の活性化…自給自足率、高齢者の雇用
庄屋制度に近い形体…農作物の管理、作業の効率化
地域間、総菜販売店の設置…食品ロスの減少
椎茸生産の活性化

②魅力づくりのアイデア

<特産品>

武儀のお米ブランド
しいたけ
しいたけを活かした魅力づくり（大きな産地になるとよい）
椎茸などの特産品を工夫して販売するようにする ※上之保だとゆず
武儀でバナナを作る
海なし県で魚を育てる
新しい農産物を作る
漬物づくり
あまり作られていない作物を作る
キヌアを盛り上げる

<イベント・観光>

夏休み期間に道の駅前の津保川付近の子供広場に「かき氷の店」や「焼きそば」「冷やしラムネ」開催！
道の駅を中心に少し足を延ばせばいける魅力の、観光ポイントとの連携して入込客を増やせるのでは（名産物・観光スポット開発）
道の駅平成はこの地区に訪れる方が寄る可能性が高く津保川全体が魅力発信すれば、おのずと入込客が多くなると考えられますので関連地区との連携が必要だと思います
平成の道の駅近辺を主として何かあるといいと思いますが
4月頃から11月頃まで漁業組合会館にカフェを！
インスタ映えを狙い、上記広場に風鈴を吊り下げ、ヨシズ張りの風鈴空間を作ったりしては！
川に遊びに来る
農村地域を自転車で回る。観光の価値観が変わってきている
信号がないから走りやすい。ドライブには最高
自転車、バイク、スーパーカー
川遊び→やまゆり保育園「お散歩コース」マップをまちづくりに取組む
森林を利用した公園やキャンプ地の開拓・整備
木を整備して山遊びができるようにできないか
ソロキャンプする人に山を貸し出す ※武儀の山は急斜面なのでキャンプ向きではないらしい
不用品交換会（農具）

「目で楽しめる武儀地域」。通って降りて写真を撮ろう
野菜を作って出す
ランチをかねて講習。人を寄せる
高澤観音のイベント（ゆく年くる年みたいに）
町全体でおもてなしをして宿泊する事業
遊びに来た人が移住を検討する流れになる
SNSで魅力を発信

<施設・場所>

グラウンドを公園的なものにしたらどうか
老人や子供が集まれる施設があるといい
道の駅の裏側にある中西さんの碑の場所をもっと公園化する
子育て世代とやまゆり保育園のお散歩コースの行先に遊具、ミニ広場を作ってほしい
道の駅にドッグラン、ピアノ（西小学校のもの）を設置
マルシェやイベントを実施する
道の駅をメイン会場に周りを開発。サイクリングロード
下呂の郷土館みたいな施設を創ったらどうか（武儀西小学校）
西小学校をいかす
森の隠れ家に予算を付与して、整備出来たら。助成できない？
寺田の「森のかくれ家」に少し予算づけして整備したらと…
八滝ウッディランドへの入口進入口の整備
登山道
轡野登山道

<環境>

休耕田が増えているので花を植えてみては？
休耕田活用…春（菜の花畑）～夏（夏の花いろいろ、ヒマワリを含む）、秋（コスモス畑）等を！
山、川、自然の景色がステキだと思うので、夏も道の駅の前川の川がたくさんで自然をいかすといいと思う
山と川を整備して魅力あるものにしていく
川遊びできる場所が沢山ある。道の駅の下は良くなった
地域全体で自然環境を売りにする
里山整備、自然の整備と景色向上
林業創生

空き家の再生、高齢者の移住受け入れ
空き家の有効活用
若者が住めるよう分譲の土地を確保する
1軒あたり 100坪ぐらい
環境保全を目的に草刈り。「草刈り女子を育成する」土岐市の例を参考に。
「武儀事務所」と連携し各自治会にある宝みがき（草刈りの実施励行）
お年寄りが散歩できる道を整備。自転車が通れる道を整備

<生活>

村の縛り事を取っ払う
小中一貫校にしてしまっってはどうか
ITの活用で遠隔授業。リモートワーク出来る仕組みを作る
グランドゴルフなどを宣伝し、運転できない人の為に迎えに行く
ネット環境（地域格差）

<人>

NPO 主導による「草刈り十字軍」の結成
自分たちの事は自分たちで。チーム作り
地域の方を巻き込んで活動を行う 例：地域の方が小学校にて裁縫活動、調理実習、社会見学（お寺）等の協力をしている
福祉活動を小学生・中学生が行う
福祉の働く人を増やしていく
武儀に移住する人に住居購入・リフォームの助成金を出し人口の増加を図る
若い人が来ないなら「終の棲処（広島）」にする。
おじいさんおばあさんが過ごしやすい地域になる。
外から来たお客様から足りない所を聞き出せたらいい

③活用すべき資源・PR できる点

<特産品>

椎茸、ゆずの振興。それも、まずは山林の整備から
地元産業を育成する。コストだけを優先しない。
椎茸
大豆の作り方（栽培方法）

気候が不安定で農作物も不安定になる。キノコに未来をつなぐ
食品、椎茸、円空イモ、ごっちゃん、あしめどじょう

<観光>

道の駅「平成」を拠点とした地区
道の駅のイベントやマルシェを実施
道の駅川側は夏になると多くの方が川遊びに見えているので、その方たちが更に快適に過ごせるような何かがあるとよいかも？
パターゴルフのところも何か整備したら多くの方がいらっしゃるかも
里山、小川、山裾の利用。道の駅や駐車場でPR
川遊びの魅力発信。あるものを活かす。
河川の活用（川遊び・釣り）
八滝ウッディランドを整備（シャワー完備）レオートキャンプや一人キャンプが安心してできるように
八滝で大きなイベントがやりたい（レゲエとか…）
椎茸狩りなどの体験コーナーも作る
農地の活性化を行う。ひまわり、レンゲ
高澤観音・満願寺
しあわせの気の森
高澤観音、八滝ウッディランド、道の駅平成、津保川のアユ
津保川
八滝ウッディランド
高澤観音
ロマンウォーク
高澤観音、南宮神社（水成地区）
キャンプ場（八滝、上之保）

<人>

チェーンソーアートの人をPR

<環境>

武儀
自然がいい
自然
都市部から近いし静かだし山がある
空気がおいしい

都会と違って、空気がきれい、顔見知りが多いので子供が遊びに出かけても安心
山、川、休耕田
遊歩道コース、ウォーキングコース。生活道路ではない歩くための道
カタツムリがおおい（石灰岩が多い？）
津保川をもっと活用する、津保川をもっとPRする
アユや魚取など
山と川をもっと活用して
富之保から下之保まで1本の道を見つけて、魅力ある道路整備 （坂祝の繋がっている道を参考に）
下水道が完備されている
武儀地域を含めて関市は割り合い災害が少ない地域であることをPR
空いている土地に工場を建てる
空き地がたくさんあるから企業誘致が出来るようPRする

<その他>

農業などは大規模でやらないと稼げない
ランチルームがある。密集してない
日赤のパンフレット

その他のご意見

<人>

若い人が皆関の方に出ていくので、もう少し子供の声が聞けるにぎやかな田舎になるといいな
若い人自身に、将来何が困るか実感してもらわないといけない(考えてない人が多い)
若い人がUターン、Iターンできる地域にする
存続するには日赤はどういうものか大事に伝えていきたい
命にかかわることを伝えたい
地域コミュニティをまとめる
水成で困る事…高齢化で区費に困る。籍があると…
若い人たちは団体に所属することに抵抗があるのではないか
子供がいない
昔は殿村が商店街のようだったが、引き継ぎ手がいなかった
40年前は殿村の道なりで全てが揃った

<生活>

デマンドバスの運行を増やす(土日)
デマンドバスで観光、楽しみを(見守りにもつながる)
いらぬものは削いで、なるべく簡潔に、効率的にやっていきたい
ずっと続いてきた土地なので、後に残せたらと思う
「武儀」の名前が残ればよい。武儀自治区
武儀西小学校は何かに使われているのでしょうか?
水で動く車があるとよい

武儀地域振興計画

令和6年3月

NPO 法人日本平成村